

回										
覧										

# 都市マス・立適ニュース vol.01

都市計画マスタープランの見直しと立地適正化計画の策定についての最新情報をお届けします。

室蘭市は、人口減少や少子高齢化が進んだ社会であってもコンパクトで暮らしやすく持続可能なまちづくりを進めるため、新しいまちづくり計画の策定（都市計画マスタープランの見直し及び立地適正化計画の策定）を進めています。今回の「都市マス・立適ニュース vol.01」では、**まちの現状分析から見えてきた室蘭市の課題の一部をご紹介します。** 今後はこれらの課題に対応した計画を策定していきます。

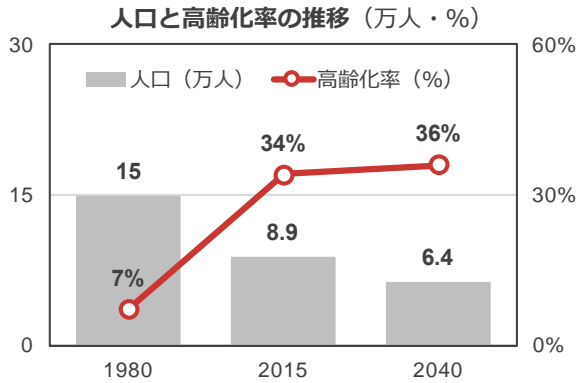
※計画の概要や詳細については室蘭市ホームページ (<http://www.city.muroran.lg.jp/main/org7310/rittekitop.html>) にて随時公開していますのでぜひご覧ください。

## 人口動向

- 2040 年までの推計では、人口減少が進み、高齢化も進行する見通しです。

### まちづくり上の課題

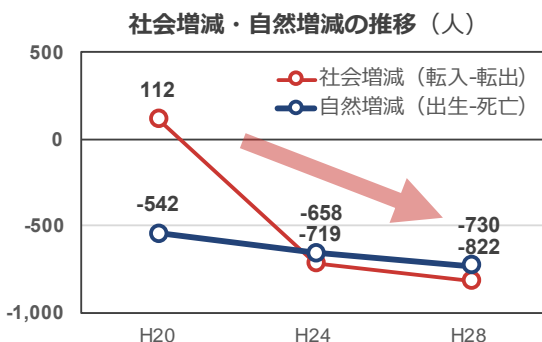
→**まちの活力低下、福祉需要の増、労働力の確保など様々な課題が表面化してきます。**



- 近年、市外への転出が増えて（社会減）、出生数が減っています（自然減）。

### まちづくり上の課題

→**子育て世代を中心とした若い世代の定住環境をつくる必要があります。**

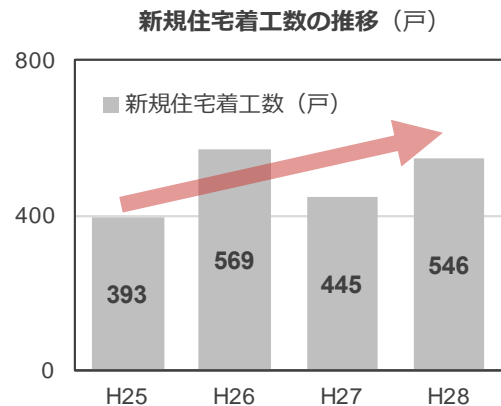
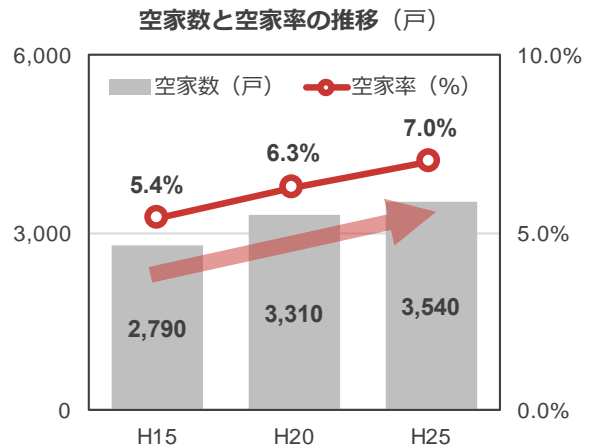


## 空家・新築住宅

- 近年、空家の数も、新築住宅の数も増えています。

### まちづくり上の課題

→**人口減少が進む一方で新築住宅が増えることにより、古い住宅の空家化が進み、都市のスポンジ化が心配されます。**



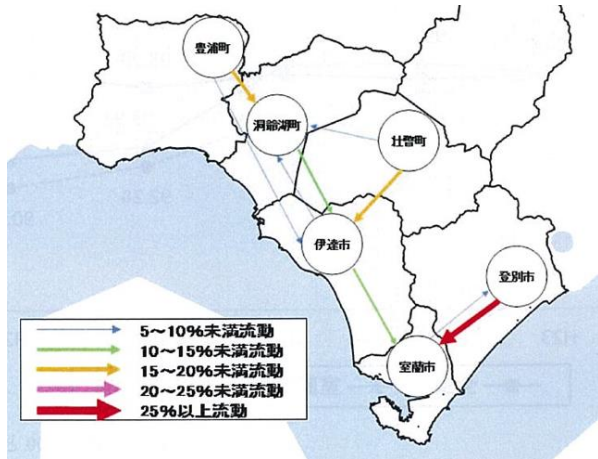
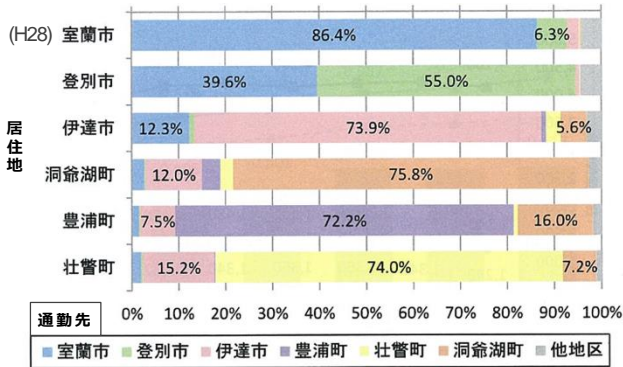
## 通勤動向

- 登別市から室蘭市に通勤している人が多い（登別市民の約4割が室蘭市に通勤）。

まちづくり上の課題

→近隣の中心都市として、働く場の維持や職住（働く場所と住む場所）近接が課題となります。

住まいと通勤先の関係 (%)



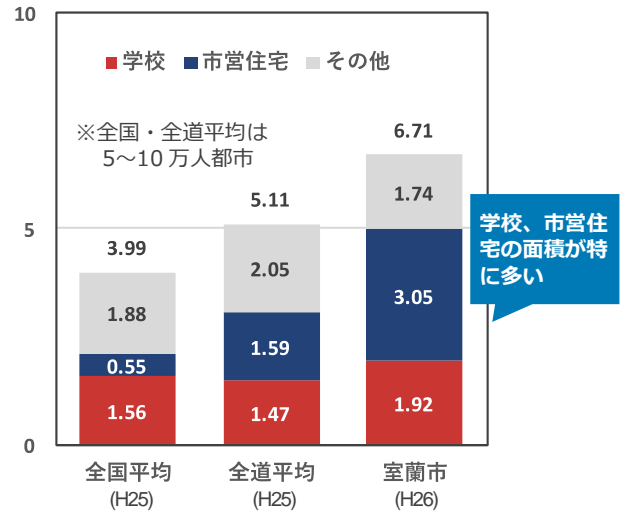
## 公共施設

- 室蘭市が保有する公共施設の「市民一人当たりの面積」は、全国・全道の類似自治体の平均よりも高くなっています。
- また、築30年を経過した公共施設は全体の76.0%となっています。

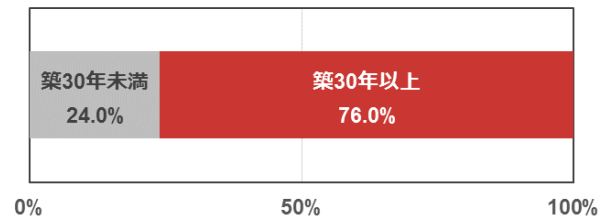
まちづくり上の課題

→公共施設の再編等により、維持管理費削減への取り組みが必要となります。

公共施設一人当たり面積の比較 (m<sup>2</sup>/人)



公共施設の築年数の割合 (%)



## ワークショップの参加者を募集します！

### 私たちの住む場所を考えるワークショップ

～私たちの行動が未来の室蘭のまちづくりを変える！～

都市計画マスタープランの見直しと立地適正化計画の策定に向けて、計画に市民のみなさんの意見を反映させるため、私たちはどういった場所に住みたいのか・住むべきなのか、どうすれば住みたくなるのか等を考えるワークショップを開催します。参加を希望される方は、**11月14日【火】まで**、電話または市役所本庁舎・広域センタービル・蘭東支所に備え付けの申込用紙に住所・氏名・電話番号・メールアドレスを記入し、下記連絡先にファクスかメールでお知らせください。定員は50名で定員を超えた場合は抽選とします。

回	日時	会場
第1回	11月26日【日】 10:00~12:00	班ごとに指定地区を歩き、まちの魅力を探します
第2回	11月30日【木】 18:00~20:00	胆振地方男女平等参画センター（ミンクール）
第3回	12月中旬	胆振地方男女平等参画センター（ミンクール）

お問い合わせ先 | 室蘭市都市建設部都市政策推進室

TEL 0143-25-2592 | FAX 0143-24-2091 | E-mail toshikei@city.muroran.lg.jp